

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 がん教育について (20分)</p> <p>文部科学省が公益財団法人・日本学校保健会に設置した「がんの教育に関する検討委員会」は検討結果について報告書を取りまとめました。文科省はこれを受け、2014年度から新たに実施する「がんの教育総合支援事業」として、全国12か所程度でモデル事業を展開する方針です。</p> <p>国民の2人に1人がかかるがんについて、12～16年度を対象とする国のがん対策推進基本計画では「がんそのものやがん患者に対する理解を深める教育は不十分」だと指摘し、その上で、がん教育の検討と教育活動の実施を目指しています。</p> <p>これを踏まえ、報告書では「いのちの大切さを育む、がんの教育」との視点から、「正しい理解」「命の大切さについて考える態度の育成」の2点をがん教育の目標に掲げました。具体的な教育内容としては、①発生要因②予防③早期発見・検診④治療⑤がん患者との共生などを挙げています。</p> <p>実施に当たっては、学校全体の共通理解を求めるとともに、保健体育や総合的な学習の時間、道徳などの授業を柔軟に活用することを提案しています。また、医師や看護師、がん経験者など外部講師の参加・協力の推進にも言及しています。</p> <p>国の動向を見極めつつ、出来る限り円滑に取組みを進める必要があると考え、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 今後の取組みについて</p> <p>(2) 学習教材など指導内容について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>
<p>2 自治体ブランド化について (10分)</p> <p>高齢化と人口減少という難題に直面する中、全国の都市が、我が街に人を呼び込もうと躍起です。そのために自治体のイメージを高めるブランド化の動きも活発で、浜松市の「出世の街」や宇都宮市の「住めば愉快だ宇都宮」、松山市の「いい、加減。」などが有名で、いずれも自らの特性や強みを吟味し、ブランド化をすすめています。</p> <p>自治体の魅力を内外に発信する「シティプロモーション」「シティセールス」を掲げた部局を持つ自治体がこの1年、2年で大幅に増えています。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>人口減少・高齢化などが進む中、自治体マーケティングは行政にとっては必須です。本市が取り組むべき課題と施策の推進を求める観点から、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 本市の「魅力」と「強み」について</p> <p>(2) 今後の取組みについて</p> <p>3 街路樹の適正な維持管理について (10分)</p> <p>美観の向上や道路環境の保全、歩行者等に日陰を提供するなど潤いのある街づくりの目的で植えられた樹木ですが、現状をみると必ずしもすべてが良好な状態にあるとは言えません。維持管理の観点から、以下質問いたします。</p> <p>(1) 車両通行等の支障について</p> <p>(2) 維持管理と今後の必要性について</p>	市長